

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	総務課	土木課	
------	-----	-----	--

基本目標	3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～
施策	13 交通安全・防犯

事業の内容	具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1 交通安全・防犯意識の高揚	(総務課) 住宅対象侵入盗防犯対策補助金の周知を行い、防犯対策を促進した(実績107件)。 自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金の周知を行い、ヘルメット着用を促進し、自転車に係る交通事故による被害の軽減に務めた(実績309件)。 高齢者の免許返納を促進する施策の検討を行った。	A	A
2 交通安全・防犯施設の整備	(土木課)事故が多発する地点や、地域住民から強く要望のある箇所では、交通安全施設や防犯施設の設置を進めた。小・中学生の通学路における安全性向上のために歩道整備や区画線設置を行うとともに、扶桑町通学路安全推進プログラムに基づき、関係機関(犬山警察署等)と連携して、児童生徒の交通安全に向けた調整を図った。	A	B
3 地域の交通安全・防犯活動の支援	(総務課) 地域における防犯カメラの設置を促進した。	B	B
4 交通安全・防犯情報の提供	(総務課) ひまわりあんしん情報メールを活用し、情報の即時提供を行った。	B	B
5			
6			

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 交通人身事故の削減	町内における交通人身事故発生件数(件)	152	128	113	87	102	89
		144	○	○	○	○	○
2 街頭犯罪の削減	町内における街頭犯罪発生件数(件)	121	103	119	139	154	151
		114	○	×	×	×	×
3							
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全、防犯は、警察や地域と連携を密にし、施策実施する必要がある。 安全・安心のまちづくりに向け、各地区からの要望に基づき交通安全施設を設置しているが、予算の範囲内において、いかに効果的に設置していくかを検討する必要がある。また、地区の要望と通学路交通安全対策の要望内容に若干の差異が生じており、調整を行う必要がある。

評価を踏まえた来年度以降の改善策
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全、防犯については、啓発に努めるとともに、自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金、住宅対象侵入盗防犯対策補助金、特殊詐欺防止用電話機器購入補助金の集中的・重点的に、積極的な活用について周知をしていく。 地区要望の中には、カーブミラー、道路照明灯、街路灯、区画線(路面のカラー塗装含む)等の交通安全施設の設置を望む声が多いことを踏まえ、過去からの経緯、緊急度を判断して優先順位をつけながら着実に地区要望に応じていく。

※1 事業の実効性
A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%)
C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度
A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%)
C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)